

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 **【新】 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館ARコンテンツ構築事業費**

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 航空宇宙産業課 企画連携係 電話番号：058-272-1111 (内3762)

E-mail：c11354@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 38,700 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	38,700	0	0	0	0	0	0	0	38,700
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

- ・岐阜かかみがはら航空宇宙博物館(空宙博)は、国内唯一の航空と宇宙の本格的な専門博物館として、平成30年3月のリニューアルオープン以来、小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進を図ることを目的とし展示の充実を図ってきた。
- ・空宙博の宇宙分野の展示スペースが航空分野に比べ狭く展示機が少ないため、限られたスペースで宇宙分野の展示・コンテンツを充実させる必要がある。

(2) 事業内容

- 空宙博の展示についてのAR等コンテンツの構築
 - ・来館者がヘッドマウントディスプレイを装着し、日本実験棟「きぼう」の展示(実物大模型)に入り、各種実験機器の目的や役割、宇宙空間での実験の意義、宇宙飛行士の仕事をAR等で体験し学べるコンテンツを構築する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県と市は、共同で博物館を所有し、運営することとしているので、本事業は、原則として県と市が同額負担する。ただし、県の施策として県が主体的に実施するもの及びその効果が市の域を超えて波及するものは県が全額を負担する。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	38,700	業務委託料
合計	38,700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

「岐阜県成長・雇用戦略2017」に掲げる「航空宇宙産業の製造品出荷額倍増プロジェクト」において、「岐阜かかみがはら航空宇宙博物館を活用した小中学生の航空宇宙に対する興味の喚起と同産業への将来の就業促進」を具体的な取組として位置付けていることから、各務原市と共同で設置する博物館に関する取り組みは、同市と共同で行うことが妥当である。なお、本博物館の維持管理については、県と市が共同で設立した（公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館が指定管理者として行う。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

リアルとバーチャルを融合させるAR（拡張現実）等の技術を導入し、実物大模型を有する空宙博ならではの体験を提供することで、空宙博の更なる魅力向上へつなげ、将来にわたり航空宇宙産業に興味を持ち、同産業の未来を担う人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
①博物館来館者数（人）	269,066	131,430	250,000	300,000	300,000	44%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	D X 対応の一環として、空宙博の既存の展示を複合現実により更に充実させることは、子どもたちの航空宇宙に関する興味関心の喚起と空宙博の誘客促進に必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】